

松山市で「工場向けワイヤレスIoT講習会in愛媛」を開催 《ワイヤレスIoTの導入効果・事例や円滑な導入・運用方法を解説》

四国総合通信局(局長:川村 一郎)は、令和元年11月12日(火)、松山市のアイテムえひめにおいて、富士通関西中部ネットテック株式会社の長谷川 淳氏と株式会社構造計画研究所の大堀 文子氏を講師にお招きし、「工場向けワイヤレスIoT講習会in愛媛」を開催しました。

このセミナーは、IoTを利活用できる人材を育成することを目的とした、総務省の「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」※の一環として開催したもので、製造業に従事されている方など18名が参加しました。

第1部の電波利用に係る知識を習得する座学講習では、長谷川氏から、IoT活用の経済効果や工場における無線利用の拡大状況とともに、工場に無線を導入するメリットを事例を挙げて述べられ、IoTで活用している無線の通信方式や無線LAN等の規格について説明がありました。

その後、工場で無線を使用する場合の特徴や無線の使用状況を把握する方法、無線導入による電波環境の変化について解説されました。

そして、工場での無線システムの構成について、使用目的や環境に適した無線規格や機器の選択、現場で機器の配置場所等の例示があり、無線導入の手順について事前調査、導入作業、導入時のテストなどのポイントを紹介されました。

第2部の電波利用に係る技術を習得する体験型講習では、電波発信装置及び無線測定器等を使用して、電波の使用状態とその時系列変化、電波発射元の情報等を確認し、大堀氏から、それぞれの情報の意味について説明がありました。

その後、電波発信装置からの電波の強さや通信量が、アンテナの位置や遮蔽物の影響により変化する状況や、複数の電波発信装置から同一の電波を同時に発信した際の混信の状況について体験しました。

最後に、無線LANに様々なセンサーを接続してデータを収集する方法や、データを可視化して蓄積する方法についての解説がありました。

参加者は、座学講習及び体験型講習の中で、自社の状況などを挙げて活発に質問されるなど、無線機器を導入する際のポイントを熟考されていました。

四国総合通信局では、今後もICT/IoT利活用に関するセミナーを開催するなど、地域の活性化に向け人材育成に引き続き努めてまいります。

※「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」

今後、多様な分野・業種において膨大な数のIoT機器の利活用が見込まれる中で、多様なユーザや若者・スタートアップの電波利用に係るリテラシー向上を図ることが不可欠であることから、IoTユーザを対象とした地域毎の講習会や体験型セミナー、若者・スタートアップを対象としたハッカソン等の取組を推進し、IoT時代に必要な人材を育成することを目的とする事業。

「工場向けワイヤレスIoT講習会in愛媛」の概要

第1部 電波利用に係る知識の習得

- ・工場におけるIoTの導入効果や事例の把握
- ・無線の基礎知識の習得(電波の特性や関連制度 等)
- ・導入手順、運用手順の習得 等

第2部 電波利用に係る技術の習得

- ・工場内の電波環境や通信状況の把握方法の習得
- ・環境に応じた電波状況の変化に関する体験と理解
- ・センサー講習(IoTを用いた工場内データの収集・理解 等)

主催: 四国総合通信局

共催: 四国情報通信懇談会

後援: 四国経済産業局、四国経済連合会、愛媛経済同友会、松山商工会議所、愛媛県IT推進協会、公益財団法人えひめ産業振興財団、愛媛県中小企業団体中央会、えひめAI・IoT推進コンソーシアム



富士通関西中部ネットテック(株)
長谷川氏のご説明の様子



(株)構造計画研究所
大堀氏のご説明の様子

【お問い合わせ先】

情報通信部 電気通信事業課 電話 089-936-5044